

【取組報告】

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に向けて
～協議の場の醸成に向けた取り組み～

浜松市

地域力アップ

基礎情報

浜松市

- ・ 静岡県の西部にあたり、7区からなる
- ・ 面積は高山市に次ぐ2番目の広さ
- ・ 都市部と山間部があり、日本の縮図と言われている



取組内容

【人材育成の取り組み】

- ・ 静岡県と静岡市と共催で研修会等を実施

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- ・ 平成27年2月から地域移行専門部会開始
- ・ 浜松市精神障害者地域移行支援事業で研修会を開催

基本情報（都道府県等情報）

障害福祉施設数（H30年4月時点）	1	が新		
市町村数（H30年4月時点）	1	市町村		
人口（H30年4月時点）	804,989	人		
精神科病院の数（H30年4月時点）	11	病院		
精神科病床数（H30年4月時点）	1,809	床		
入院精神障害者数（H29年6月時点）	合計	1,454	人	
	3か月未満（※：構成割合）	290	人	
	3か月以上1年未満（※：構成割合）	19.9	％	
	1年以上（※：構成割合）	360	人	
	うち65歳未満	24.8	％	
	うち65歳以上	804	人	
退院率（H29年6月時点）	入院後3か月時点	55.3	％	
	入院後6か月時点	315	人	
	入院後1年時点	489	人	
相談支援事業所数（H30年4月時点）	基幹相談支援センター数	73.0	％	
	一般相談支援事業所数	87.0	％	
	特定相談支援事業所数	94.0	％	
保健所数（H30年4月時点）	1	が新		
（自立支援）協議会の開催頻度（H29年度）	（自立支援）協議会	2	回/年	
	協議会	1	が新	
精神障害者に対する地域移行支援プログラムの実施に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（H30年4月時点）	設置市町	有	1	が新
	障害福祉施設	無	0 / 1	が新/障害福祉施設
	市町村	無	0 / 1	が新/市町村数

	3ヶ月未満入院者数	3か月以上1年未満入院者数	1年以上入院者数	政策効果による地域移行数（目標値）	合計
平成27年6月末	363 人	270 人	886 人		1,519 人
平成28年6月末	343 人	271 人	849 人		1,463 人
平成29年6月末	290 人	360 人	804 人		1,454 人
平成32年度末				150 人	
平成36年度末					

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

（1）研修会の実施

浜松市精神障害者地域移行支援事業において、精神科病院や相談支援事業所の職員へ対し研修を行っている。

H23年度より市の事業、年2、3回実施。

H28年度から精神科病院にてキャラバンを実施。

※キャラバン：部会構成員と行政職員による院内勉強会

（2）地域移行専門部会の開催

浜松市障がい者自立支援協議会地域移行専門部会において、テーマ設定を行い、部会のない月は企画会議（部会構成員3名含）を実施している。

H27年2月からH29年2月まで、年3回実施（計7回実施）。

H29年7月からは地域移行・定着専門部会の開催、年2回実施（計2回実施）。

- 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築支援事業（以下事業）を実施するに当たり感じていた課題
 - ・ 客観的な意見
 - ・ 実施しているメニューの少なさ
- 事業を実施してどのような成果を期待したか。
 - ・ 地域に足りないもの、地域分析 ⇒ 優先順位
 - ・ 地域移行・定着専門部会の充実 ⇒ 構築推進事業における保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置

4 協議の場の設置概要

浜松市障がい者自立支援協議会 地域移行・定着専門部会

1. 構成メンバー

精神科医療機関	4名（医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士）
委託・一般相談支援事業所	4名（社会福祉士、精神保健福祉士）
居宅介護支援事業所	1名（社会福祉士）
訪問看護ステーション	1名（看護師）
薬局	1名（薬剤師）
学識経験者	1名（作業療法士）

2. 主な協議内容

※内容は別紙参照 調査研究ののち政策提言を目指す

5 浜松市障がい者自立支援協議会 協議の場 開催に向けた 準備等

○事務局

浜松市役所 障害保健福祉課

○開催に向けた 準備等

部会がない月は企画会議を実施
(部会構成員3名、精神保健福祉センター、障害保健福祉課)
部会構成員3名のうち、2名は密着AD

○協議内容の選定等、課題出しの経過

県と共催している研修会や県部会にて、課題を抽出しロードマップ作成

○会議に提出している資料

※別紙参照

6 浜松市障がい者自立支援協議会 地域移行・定着専門部会 平成29年度の実施内容

開催月	協議内容
平成29年 9月	名称変更第1回目 浜松市の概要確認 事例を活用し、情報共有
平成30年 2月	第2回 委託相談支援事業所向けアンケート実施報告 ロードマップ確認後、次年度の役割分担の確認
部会の ない月	企画会議 ・部会の資料確認 ・進捗状況確認

7 浜松市障がい者自立支援協議会 地域移行専門部会での成果等

○協議の場で協議された内容で、具体的な活動に結びついた成果

- モデル実施
- 医療機関意見交換会
- 医療機関にてキャラバン実施

○具体的な活動に結びつけるための、実務関係者、市町村関係者との連携の図り方

- 事前の打ち合わせ（企画会議）・・・月に1回開催
- 区ごとの地域移行者数を示し、区の自立支援連絡会の事務局へアンケート
- CSWとの意見交換会
- 基幹相談支援センターとの意見交換会

8 地域移行専門部会立ち上げ準備資料

Ⅲ 地域移行専門部会を設置します。

- 浜松市には、障害者総合支援法の規定に基づく、障がい者自立支援協議会があります。
- この協議会には、特定課題を集中的に議論するための専門部会を設置することができます。
- この専門部会に、精神障害者の地域生活への移行に関する課題の協議や支援の実践を行う、地域移行部会を設置します。

実際の資料 平成26年12月の時点

8 地域移行専門部会立ち上げ準備資料

① ところが、全国では、地域移行部会の運営がうまく行われておりません。

【他自治体での課題】

- 年間2～3回の会議では、報告や情報交換にとどまることが多く、協議内容が希薄化している。(形骸化)
- 参加者が多人数で、意見の集約ができない。(人員数)
- 地域移行に対する参加者の取組みの差が大きく、共通の土台での議論が成立しない。(意欲格差)
- 課題に取り組むのが部会メンバーだけにとどまり、支援の拡がりがみられない。(閉塞感)

8 地域移行専門部会立ち上げ準備資料

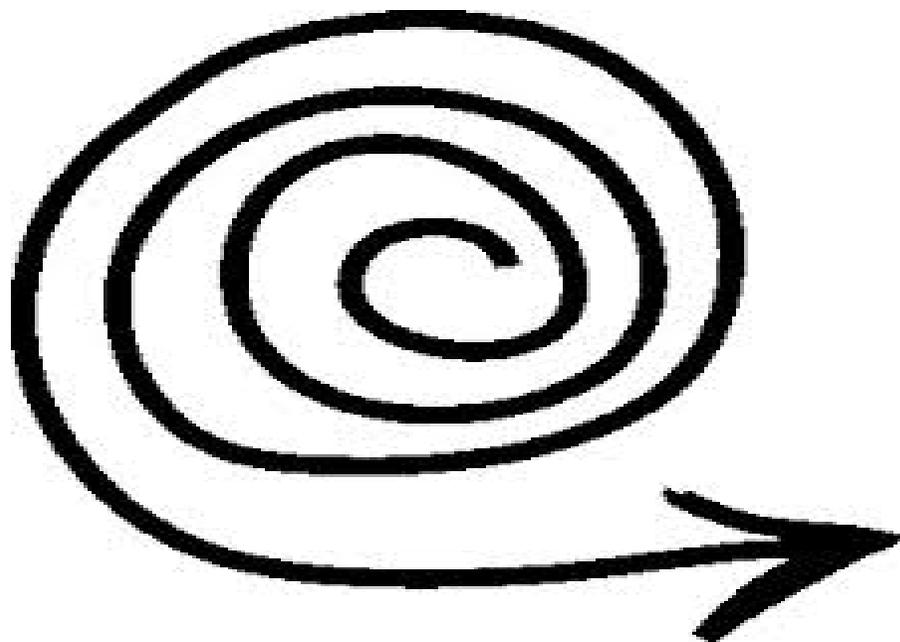
② そこで、次のように運営したいと考えています。

【浜松市の運営の考え方】

- 形骸化 ⇒ 専門部会の下に毎月の企画会議を設置します。
年度ごとの取扱テーマを定め集中議論します。
- 人員数・意欲格差
⇒ 構成員を10人以内にとどめ、濃密な協議を進めます。
- 閉塞感 ⇒ 会議傍聴のPRやオブザーバー参加の活用を通じて、部会をオープンに運営します。

8 地域移行専門部会立ち上げ準備資料

③ 運営のねらいは、「巻き込む」ことです。



地域移行に関して、多方面の支援機関関係者に関心を高めていただくため、会議の公開・情報発信に努めます。

8 地域移行専門部会立ち上げ準備資料

- ・支援モデルの策定と検証 ⇒H28年度の水平展開に向けた準備
- 病院と地域援助事業者と行政の円滑な連携構築
- ・多職種連携の推進
- ・地域移行への支援者参画の拡大

- 地域移行並びに地域定着の利用件数
- 精神障害者地域移行支援者連携事業の参画病院数並びに利用件数
- 医療保護入院者退院支援委員会における地域援助事業者の参加件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ターム		TERM 1					TERM 2				TERM 3					
専門部会		 2月27日(金)				 6月26日(金)				 10月23日(金)				 2月26日(金)		
企画会議	 1月23日(金)	 2月19日(木)	 3月20日(金)	 4月 日()	 5月 日()		 7月 日()	 8月 日()	 9月 日()		 11月 日()	 12月 日()	 1月 日()		 3月 日()	
内容	○第1回専門部会の運営方法について協議 ○資料の確認	【テーマ】今後の部会運営について ①現況の認識共有 ②年間目標の設定 ③年間計画の設定	○調査内容の検討・集計	○調査結果の分析・課題の抽出	○課題の整理 ○退院支援アプローチ手法の提案まとめ	【テーマ】目標実現に向けたアプローチについて ①目標実現に向けた課題 ②モデル手法の検討	○地域移行連携モデルの実施検証	○地域移行連携モデル資料の作成(1)	○地域移行連携モデル資料の作成(2)	【テーマ】地域移行連携モデルのブラッシュアップ ①地域移行連携モデルの意見交換 ②モデルの活用手法	○地域移行連携モデルの実施検証	○地域移行連携モデル実施の支援(1)	○地域移行連携モデル実施の支援(2)	【テーマ】部会の年間取組みの検証と次年度テーマ ①地域移行連携モデルや地域移行支援の検証 ②今後の課題	○H27部会の検証 ○H28年度における目標の検討	
取組			○精神科病院ワーカーや相談支援事業所相談員を対象とした現況アンケート調査の実施			A病院における地域移行モデルの実践			B病院における地域移行モデルの実践							
備考(予定)			3月19日(木) 精神保健福祉審議会				地域連携研修会		精神保健福祉審議会		地域連携研修会			地域連携研修会	精神保健福祉審議会	

9 今年度の計画（抱負等）

- 1 地域移行支援の受け皿作り（事例検討）
- 2 ピアサポート体制について（研修会等）
- 3 住居について話し合う協議会作り（関係機関との意見交換）

⇒次年度、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築
推進事業の準備